

伊勢崎南ロータリークラブ 2025-2026 WEEKLY REPORT

よいことの
ために
手を取りあおう



会 長：小谷野晃良 幹事：矢内良春 広報委員長：山川幸洋
事務局：伊勢崎市中央町 20 番 17 号 アイオー信用金庫本店
TEL 0270-30-5033 FAX 0270-21-9000

本年度クラブテーマ ロータリーの研鑽を高めよう

- 会員目標：会員増強純増 3 名
- 出席率：80%台に上げる
- 奉仕活動：第 2 分区 B 合同事業への参加
- 青少年奉仕：提唱インターアクトクラブが次年度幹事クラブとなる為、年次大会策定準備のサポートを行う

- マイロータリー登録：100%を継続し活用する
- 米山奨学生：例会・行事への参加を促し交流をサポート

寄付目標

- ★ロータリー財団年次寄付 (1 人当たり 150 ドル以上)
- ★ポリオプラス (1 人当たり 30 ドル以上)
- ★米山奨学寄付 (1 人当たり 16,000 円以上)

<< 2026・2・10 >>

第 1997 回例会

本日のプログラム

- 通常例会
- 米山記念奨学生出席 杜濡君さん
- IM 実行委員会 例会終了後
- 第 1996 回例会報告書 令和 8 年 2 月 3 日
- 点鐘 12 時 30 分
- ロータリーソング 『国歌・奉仕の理想』
『インターアクトの歌』

□会長の時間 (会長 小谷野晃良)

1 月 27 日の田原会員が米山奨学生を招いて日本食の会が開催され、奨学生 3 名と会長幹事、事務局で参加させていただきました。日本の伝統的な食事や出汁の話、そして目の前で出し巻き卵や土鍋ご飯等をつくり、料亭のような食事を美味しくいただきました。

田原会員は自宅横にこのような調理や食事もできる別邸を現在建築中で、今後もこのような催しを考えていくそうですので完成を楽しみにしています。

□幹事報告 (幹事 矢内良春)

○本日、理事会開催

・2 月例会：2/10(火)通常例会 2/17(火)通常例会、2/24(火)休会
2 月の例会で会員卓話を予定しております。

・2 月行事：2/21(土)DEI 推進委員会交流事業 意見交換会
Zoom14：00～16：00

・3 月例会：3/3(火)理事会・例会、3/10(火)IM、3/17(火)例会 2000 回お祝い例会、3/24(火)休会、3/31(火)休会

※3 月で米山奨学生の杜濡君さんが卒業です。

・3 月行事：3/7(土) 米山記念奨学生修了式・奨学生歓迎会
対象者：杜濡君さん・角内カウンセラー、3/15(日)16(月)会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー 磯部ガーデン
出席者：田端会長エレクト・田中次年度幹事・矢内地区米山委員長・田原地区 IA 委員長、3/20(金)金新会員セミナー14：30 エテルナ高崎 出席者：鷹巣ガバナーエレクト

○伊勢崎市国際交流協会より映画の無料招待券が 4 枚届いています。『教皇選挙』日時：2/4(水)18：15 開場 18：45 開演事務局までお願いいたします。

○メイクの際は、例会変更等がございますので、事務局までお問合せください。

□出席報告 2 月

最近の出席率			
日付	出席者数	会員数	出席率(%)
2 月 3 日	17	25	68

有限会社 目木商店
代表取締役 目木和良
伊勢崎市大手町 4-29

TEL(0270)25-1113 FAX(0270)21-7721

株式会社 ハナムラ
代表取締役 奥村聡
伊勢崎市太田町 1176-10

TEL(0270)26-0637 FAX(0270)24-0014

メイクアップはお近くでどうぞ!

月曜日	伊勢崎東 RC	伊勢崎プリオパレス	12：30～	第 1・3 木曜日	伊勢崎ローターアクト・クラブ	伊勢崎プリオパレス	19：30～
水曜日	伊勢崎 RC	伊勢崎プリオパレス	12：10～	金曜日	四ツ葉学園 JRC・インターアクト部	四ツ葉学園	12：50～
木曜日	伊勢崎中央 RC	ニューいづみ	12：10～	木曜日	群馬境 RC	群馬銀行境支店	12：10～

□米山記念奨学会・ロータリー財団寄付

大竹正城さん・角内久世さん・鈴木昭彦さん
鷹巣修さん・福島敬仁さん・目木和良さん
矢内良春さん・吉沢徹さん

□ニコニコBOX委員会

○今月、お誕生日を迎えます

矢内良春さん・田原明美さん
大竹正城さん

○今月、結婚記念日を迎えます 奥村聡さん

○今月、創立記念日を迎えます

S53.2.1 創立

(有)ワールドエンジニアリング
新井茂雄さん

S47.2.17 創立

さくらオフィス(株)
小谷野晃良さん

H20.2.1 創立

JPI Technology
大竹正城さん



ご協力ありがとうございました。

2025-2026 年度 累計 186,000 円

□児童養護施設視察報告 松島秀典さん

1月19日、鷹巣ガバナー補佐・小谷野会長・田端さん・私の4名で、太田市の児童養護施設『東光虹の家』の視察に伺ってきました。施設のお子さんというと、ひもじく不自由な日々を過ごす不憫な子…というステレオタイプなイメージでしたが、実際に拝見してイメージが大きく変わりました。住まいも綺麗だし、子どもたちは皆元気で、人懐っこくすらありました。

施設長・本間さんに話を伺うと、多くの企業団体が寄付や物資の提供などをしてくれるお蔭で、正直この施設の子どもたちは物質面では特に困る事がないようで、小腹が空けば戸棚を開けるとお菓子は有るし、消しゴムを無くしても替えの消しゴムを買いに行く必要もなく戸棚に入ってる、そういう環境なのだそうです。

こうした施設に入れず、今も親の育児放棄や虐待に晒され続けている子どもたちは実際に居て、そういう子どもたちの方が余程大変な思いをしているでしょう、と本間施設長はおっしゃいます。このある種、恵まれた環境で不便なく育ってしま

う事で、施設の子どもたちには甘えた意識があります。今回のロータリーさんの奨学金に応募しようというのがたった1人だけというのも、まさにその甘えた意識が消えずに育ってしまった事を反映しているのだと思います、とも。

卒園していく子どもたちには、社会に出たら、困った時には助けてくれるような親が居ない身として、しっかりこうした制度に応募する意識、いずれ現実にかかるだろう困難や問題に備える意識、そうしたものを持ってほしいのです、と。しかし不足や不便のない恵まれた環境の中で、なかなか当人たちがそういう意識になってくれない…それが目下の課題です、と。

私はこの話を聞いていて、今回のみらい奨学金を通じ、ただ単に施設卒園の子どもにおカネをあげる事がベストな形なのか？わからなくなりました。おカネの他にも、求められる子どもたちとの関わり方は、他にも色々あり得そうだと感じたからです。正解はわかりません。

但し、1つ確実に言える事は、こうした制度を足がかりとして、我々ロータリーが子どもたちについて考える事・コミットしようと試みる事は大変重要だという事です。おカネをあげる事が一番良い形か、それ以外の関わり方を模索してみた方が良いのか、それは現時点でわかりません。

何が最適な関わり方なのか、どこまでの子どもたちを対象化すべきなのか等、ハッキリ言って正解がまだしっかりと固まっていない状態の制度だと思っています。そうした制度への批判も出るでしょうし、子どもたちへのコミットの試み自体への反対意見も出るでしょう。しかしそれらも含めて、今回のIMは『我々ロータリークラブは子どもたちに何をしてあげられるのか？』これを真剣に考えてみるキッカケとなるものです。

正解は出ないでしょうし、だからこそ色々な意見もたくさん出る筈です。今年のIMは、例年以上にあちこちマイクを運んだり、忙しくなる事も予想されます。そんな年にホストクラブを務めるのは大変な事ですけれども、是非とも会員皆さんでイベント運営にご協力いただきまして、来月に迫ったIMがしっかりと開催できますよう、宜しく願いを申し上げます。